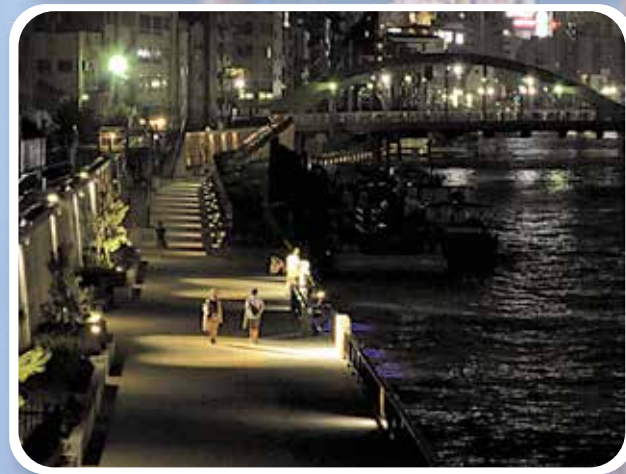


環境・景観に配慮した川づくり 整備事例集



平成29年4月



東京都建設局河川部

はじめに

近年、河川に対しては、治水機能の向上だけでなく、水辺に親しみ、生きものを育み、自然とふれあえ、美しい景観を創出するなどの、都市に残された貴重な空間として、様々な期待が寄せられています。

これまでも、こうした声にこたえ、親水性の高い緩傾斜護岸や護岸等の緑化、生きものがすみやすい構造の採用など、自然環境の保全・回復や水辺利用にも配慮した整備を進めてきました。

平成 28 年 12 月に策定した「2020 年に向けた実行プラン」では、河川空間の緑化を進めて水と緑のネットワークを更に充実させることや水辺の景観形成を実施してにぎわいを創出することとしており、建設局が実施する河川整備が益々重要となっています。

本事例集は、これまで建設局が整備してきた事例を河川ごとにとりまとめたもので、今後の河川整備を都民の皆様とともに進めていくための理解を深める一助となれば幸いです。

目次

整備事例集

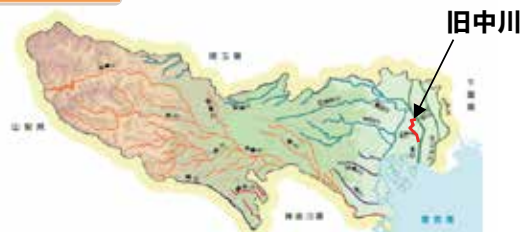
河 川 名			主 な 整 備 内 容
【1. 区 部】			
1-1	旧 中 川	(きゅうなかがわ)	緩傾斜堤防、高水敷(遊歩道)、カワセミ営巣地
1-2	隅 田 川	(すみだがわ)	テラス(遊歩道)
1-3	北十間川	(きたじゅっけんがわ)	緑化護岸、遊歩道
1-4	小名木川	(おなぎがわ)	遊歩道(塩の道)
1-5	神 田 川	(かんだがわ)	落差工(魚道)設置
1-6	善福寺川	(ぜんぷくじがわ)	親水護岸
1-7	石神井川	(しゃくじいがわ)	階段護岸、遊歩道
1-8	旧江戸川	(きゅうえどがわ)	緩傾斜堤防、高水敷(遊歩道)、アシ原の復元
1-9	新 川	(しんかわ)	遊歩道
1-10	新 中 川	(しんなかがわ)	高水敷(広場)、植生保全(アシ)
1-11	内 川	(うちかわ)	遊歩道
1-12	中 川	(なかがわ)	遊歩道、堤防緑化
【2. 多摩部】			
2-1	落 合 川	(おちあいがわ)	階段護岸
2-2	柳 瀬 川	(やなせがわ)	緩傾斜護岸
2-3	空 堀 川	(からぼりがわ)	緩傾斜護岸
2-4	野 川	(のがわ)	捨石護岸、カワセミ護岸
2-5	三 沢 川	(みさわがわ)	緩傾斜護岸
2-6	湯 殿 川	(ゆどのがわ)	階段護岸、落差工(魚道)設置
2-7	残 堀 川	(ざんぼりがわ)	緩傾斜護岸、カワセミ護岸
2-8	谷 地 川	(やじがわ)	緩傾斜護岸、植生の保全、瀬・淵の復元
2-9	平 井 川	(ひらいがわ)	自然石護岸
2-10	鶴 見 川	(つるみがわ)	緩傾斜護岸、植生の保全
2-11	境 川	(さかいがわ)	旧河川敷を活用した緩傾斜護岸整備
2-12	大 栗 川	(おおぐりがわ)	緑化護岸、遊歩道
2-13	乞 田 川	(こったがわ)	緑化護岸、遊歩道
【3. その他】			
3-1	金山調節池	(かなやまちょうせつち)	多様な動植物からなる湿地性生態系調節池
3-2	角 尻 川	(つのしりがわ)	魚道(ウナギ用)

「関東のいい川づくり」入賞河川

○表紙の写真 : 落合川 旧中川 隅田川

江東三角地帯を流れる河川（江東内部河川）は周辺地盤が著しく低いため、河川の水位を低下させるとともに、河道整備と合わせて河川環境にも十分配慮しつつ整備しています。旧中川では、親水性の高い緩傾斜型堤防で整備しました。

位置図



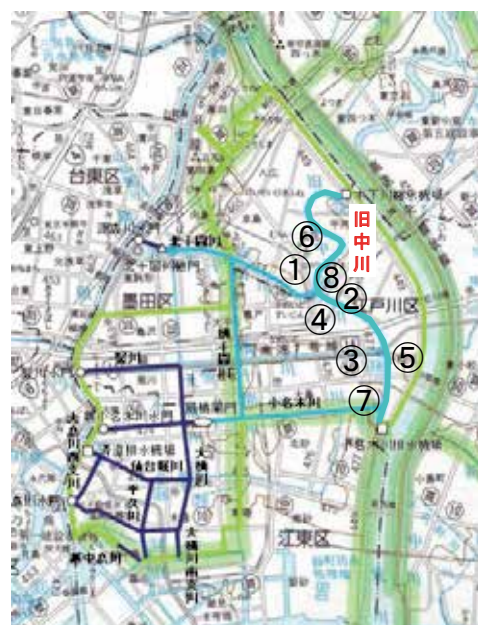
整備前

① 墨田区立花三丁目付近



護岸により景観が分断
地盤高より水位が高い様子

流域図



整備後

② 江戸川区平井二丁目～江東区亀戸九丁目付近



捨石による低水護岸



親水性の向上

③江東区亀戸九丁目付近



スロープの整備

④江東区亀戸中央公園付近



河川と公園の一体整備

⑤江戸川区平井三丁目付近



高水敷への桜の植栽

⑥墨田区立花五丁目付近



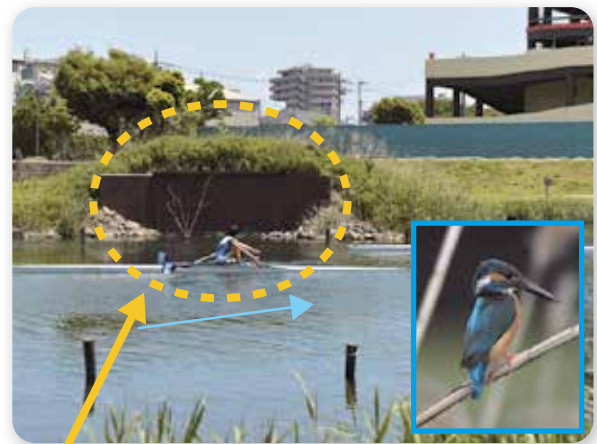
堤防に沿った桜の植栽

⑦江東区大島九丁目付近



旧中川「川の駅」

⑧江東新橋上流付近



●カワセミの営巣地

隅田川では、昭和30年代から40年代にかけて築造された既設防潮堤の前面にテラスを整備しています。スーパー堤防の一部となるテラスは防潮堤の耐震性を向上させるとともに、散策やジョギングなど都民が身近なところで水に親しめるように水辺の再生を図るものです。また、夜間も安心して安全にテラスを利用できるように照明を整備しています。

整備前

① 中央区明石地区付近



直立のコンクリート堤防がそそり立っていた様子

位置図



流域図



整備後

① 中央区明石地区付近



スーパー堤防と公園を一体整備

② 永代橋より下流右岸(中央大橋)方向を望む



昼と夜で趣の異なる水辺空間の創出

③荒川区西尾久六丁目(あらかわ遊園前)



花見で賑わうあらかわ遊園

④荒川区南千住八丁目付近(白鬚西)



河川と公園の一体整備(スーパー堤防)

⑤墨田区向島五丁目付近



●ボートの揚げ降ろしができる階段状の護岸を整備

⑥墨田区向島一丁目付近



花見で賑わう隅田公園

⑦墨田区東駒形一丁目付近



テラス内の水路では、クロベンケイガニや小魚が生息しています。

⑧足立区千住桜木二丁目付近



ワンド型緩傾斜型堤防

整備後の事例

夜間におけるテラスの回遊性や誘導性、夜間景観を向上させる照明を整備

⑨ 台東区蔵前二丁目付近



昼 間



夜 間

⑩ 台東区柳橋一丁目付近



スカイツリーの夜景とテラス照明

⑪ 江東区佐賀一丁目付近



高木を照らす照明

最大級の地震に備えた水門の耐震・耐水化に合わせ修景整備を実施



月島川水門（整備前）



月島川水門（整備後）

江東三角地帯を流れる河川(江東内部河川)は周辺地盤が著しく低いため、河川の水位を低下させるとともに、河道整備と合わせて河川環境にも十分配慮しながら遊歩道等を整備しています。北十間川では、自立式鋼矢板で低水路部を設けた後、上部を緑化ブロックなどで整備しています。

整備前

① 墨田区文花一丁目付近



整備後

① 墨田区文花一丁目付近



- 護岸壁面に植栽ブロックを設置

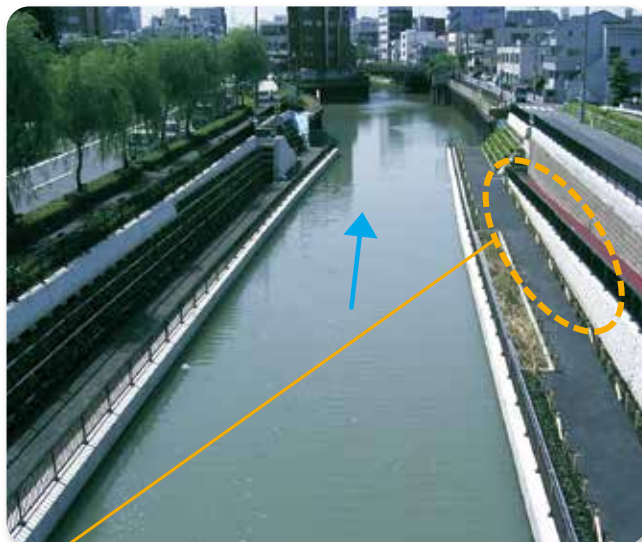
位置図



流域図



② 墨田区文花一丁目付近



- バリアフリー対策にスロープを設置

③ 墨田区向島五丁目付近

北十間川はスカイツリーに面していることから、テラスを観光の憩いの場として、多くの皆さんに利用していただいております。テラスをより一層利用してもらうため、テラスが不連続となっていた橋梁下を通れるように整備しました。また、景観にも配慮した高欄に LED 照明を整備しスカイツリーのライトアップと相まって夜景も楽しめる新たな観光の名所となっています。



テラスが不連続 (整備前)



浮棧橋形式で連続化 (整備後)

④ 墨田区押上1丁目付近 (スカイツリー前)



スカイツリー周辺施設と一体となった水辺空間を整備 (区施工)

1-4

おなぎがわ 小名木川

江東区

区部
小名木川

江東三角地帯を流れる河川（江東内部河川）は、周辺地盤が著しく低いため、河川の水位を低下させるとともに、河道整備と合わせて河川環境にも十分配慮しつつ整備しています。小名木川では、親水性に加え江戸情緒を醸し出す護岸整備をしました。

位置図



流域図



整備前

① 江東区北砂五丁目付近



整備後

② 江東区東砂二丁目付近



石積（石張り）護岸と親水テラス

江戸情緒を醸し出す常夜灯と和船等が利用できる船着き場



江戸時代風の立て看板や藤棚のパーゴラ

1-5

神田川

中央区・台東区・文京区・千代田区・新宿区・豊島区
中野区・杉並区・三鷹市

神田川では、平成4年に東京都水産試験場が投網によってアユの捕獲をして以来、毎年アユの生息が確認されています。東京都の中心を流れる神田川にアユが遡上して繁殖できれば、自然性が低下していた都市の川の象徴になります。落差工の改善はそうした目標に向けての第一歩です。高戸橋下流では垂直な落差工によってアユの遡上が妨げられていたため、粗石付魚道を設置し、落差工を改善しました。

位置図



流域図



整備前

豊島区高田2丁目付近(高戸橋下流)



垂直な落差工のため魚が川を上りにくい状況

整備後



● 魚が川を上りやすい落差工

1-6

善福寺川

中野区・杉並区

区部
善福寺川

善福寺川では、平成17年の集中豪雨によって甚大な被害を受けたため、激特事業を17年から21年の5ヵ年で実施しました。激特事業にあわせて、多自然川づくりアドバイザー制度を活用し、善福寺川本来の河川環境の保全や自然景観の創出に配慮した整備を行っています。また、ワークショップを立ち上げ住民参加型の川づくりに取り組みました。

位置図



流域図



整備前

杉並区堀之内2丁目付近(武蔵野橋下流)



整備後



● 既設石材再利用



親水護岸部

石神井川では、川沿いに用地が確保可能な箇所では傾斜の緩い護岸や景観に配慮した遊歩道の整備を進めるなど、親しみやすい水辺空間の整備に努めています。さらに、公園と一体となって緑化を図ったり、旧川を利用したワンドの形成、魚巢ブロックや魚道の設置など、自然環境へも配慮した川づくりも行っています。

位置図



流域図



整備前

① 練馬区南田中五丁目付近



コンクリート護岸と柵により川に近づけない状況

整備後



● 緩傾斜護岸により親水化

整備前

② 板橋区板橋四丁目付近



川幅が狭く土砂が堆積している状況

整備後



川の拡幅と掘削により治水安全度が向上
護岸背面の公園と連携し緑化も促進

整備後の事例

③ 北区豊島二丁目付近(あすか緑地)



高潮区間における緩傾斜型護岸

④ 北区滝野川三丁目付近(音無もみじ緑地)



ワンドの形成など生物の生息環境にも配慮

⑤ 練馬区石神井五丁目付近



自然河床化と景観に配慮した遊歩道

⑥ 西東京市東伏見二丁目付近



公園計画と連携した多自然川づくり
(緩傾斜護岸による整備)

旧江戸川では、昭和 30 年代から 40 年代にかけて整備された防潮堤を根固め補強して高水敷を整備しています。この高水敷整備により防潮堤の耐震性を向上させるとともに、散策やジョギングなど都民が身近なところで水に親しめるように水辺の再生を図っています。

整備前

① 江戸川区東葛西八丁目付近



直立のコンクリート護岸により、川に近づけない印象

整備後

① 江戸川区東篠崎二丁目付近



● 親水性の整備を行うことでカニなどの生息の場になっています。

位置図



流域図



都の鳥「ユリカモメ」

② 江戸川区南葛西五丁目付近



魚の産卵や小魚の隠れ場所として、捨石による漁礁を設置しています。

② 江戸川区南葛西五丁目付近



緩傾斜型堤防により、水辺に近づくことができるようになりました。また、転落等の危険がない場所には柵を設けていないため水に触れることが出来るようになりました。

③ 江戸川区江戸川二丁目付近



アシの根を定着させるため、波よけの鋼矢板を残してあります。

また、旧江戸川では、防潮堤の耐震対策ならびにスーパー堤防等の整備を進めています。耐震対策工事では、軟弱な地盤の改良や多目的に利用可能な高水敷の整備を進めています。

上流部では、アシ・ヨシといった水生植物が自生しており、工事後にアシ・ヨシ保全区域として復元しました。

1-9 しん 川 江戸川区

新川では、川の両岸に遊歩道を設置して釣りや散歩など、人々が水辺に親しむことができるよう整備するとともに、既設護岸の撤去やアシ等の植栽により景観や環境にも配慮しています。

位置図



流域図



整備前

① 江戸川区船堀三丁目付近(宇喜田橋付近)



川と町が隔てられ近寄り難い印象

整備後



● 親水護岸の整備

整備後の事例

② 江戸川区船堀七丁目付近



③ 江戸川区宇喜多町付近



川に沿って桜を植樹

④ 江戸川区北葛西一丁目付近



● 生き物への配慮 (アシの移植)

⑤ 江戸川区北葛西一丁目付近



公園と一体となった親水空間の整備

⑥ 江戸川区中葛西二丁目付近



⑥ 江戸川区中葛西二丁目付近



捨て石による低水護岸と遊歩道 (区施工)

新中川では、高水敷の整備に合わせて、散策やいろいろな運動に利用できる広場を整備しています。また、アシ原を復元してカニや小魚などの成育環境や水質の改善にも配慮しています。

位置図



整備前

① 江戸川区鹿骨六丁目付近



不法耕作の状況

流域図



整備後

① 江戸川区鹿骨六丁目付近



● 広場タイプ（鹿骨新橋上流左岸）
散策やジョギングなどの運動や
いろいろな利用ができる広場

② 葛飾区高砂一丁目付近



環境保全タイプ（中川合流点）
アシ等の植生帯をつくり、カニなどが棲める
場所を創出

整備後の事例

③ 江戸川区南新小岩六丁目付近



間伐材の有効利用（上一色橋左岸）
東京多摩産の間伐材（杉）を使用し、環境と
景観に配慮した木柵

④ 葛飾区奥戸九丁目付近



環境保全タイプ（八剣橋上流左岸）
アシ原を復元して、小魚などの住みやすい
環境を創出

⑤ 葛飾区奥戸八丁目付近



広場タイプ（椿橋上流右岸）
水辺に近づく空間

⑥ 江戸川区大杉四丁目付近



暫定係留施設（鹿本橋下流右岸）
不法係留船対策として整備

⑦ イベント風景 新中川フェスタ



整備された高水敷は多目的に利用されています

⑧ 江戸川区東松本二丁目付近(松本橋上下流)



ボート・カヌー体験

内川では、昭和44年、河口に水門を整備し高潮防御に万全を期すとともに、上流の下水道幹線と下流の河道との分担により1時間50ミリの降雨に対する洪水流下能力を備え、治水上の整備は完了しています。

現在、護岸の老朽化や地震に対する対策を進めており、護岸の耐震対策に合わせて遊歩道を整備しています。

位置図



流域図



整備前

① 大田区大森東二丁目付近(内川橋下流)



● 老朽化により護岸が傾いていました

整備後

② 大田区大森東二丁目付近(新橋下流)



● 護岸の耐震対策に合わせて遊歩道を整備しました

中川の護岸・防潮堤は、昭和 40 年度に概成しました。また、昭和 44 年には綾瀬川との合流点の下流に上平井水門が整備されました。現在は、護岸の耐震性を向上させるとともに、既設護岸の前面にテラスを整備しています。テラスは人々が水辺に親しむことができるように遊歩道や展望デッキを設置しています。また、堤防法面に覆土、張り芝等の緑化を行い、環境に配慮した川づくりを進めています。

位置図



流域図



整備前

① 葛飾区立石八丁目付近



整備後

① 葛飾区立石八丁目付近



遊歩道の設置

② 清砂大橋下流



● 低木の植栽
● 覆土・張り芝等による緑化

③ 葛飾区東立石四丁目付近



スーパー堤防と公園との一体的な整備により、親水性を向上

④ 葛飾区奥戸一丁目付近



● 川幅が広く、曲がりくねった中川(七曲り)の景色を活かした展望デッキを整備

2-1 おち あい がわ 落合川 東久留米市

落合川では、東久留米市内を東流している黒目川に合流する延長約3.4kmの荒川水系一級河川です。当河川は湧水が豊富であり、環境省等が絶滅危惧種として指定するホトケドジョウやナガエミクリなどが生息・生育し、その豊かな河川環境に対して多くの住民から関心を寄せられています。

位置図



流域図



整備前

① 東久留米市南沢三丁目付近(宮下橋上流)



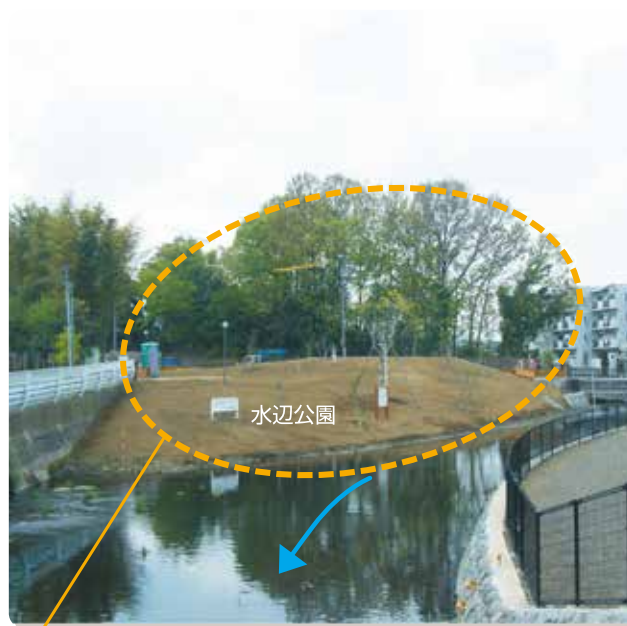
整備後

① 東久留米市南沢三丁目付近(宮下橋上流)



● 神社裏の雑木林(クヌギ、シラカシ等)を保全

② 東久留米市南沢三丁目付近(水辺公園)



● 隣接する公園と一体的に整備

柳瀬川では、過去に多くの水害が発生していましたが、改修事業の進捗により安全性が向上しています。

また、改修にあたっては旧河川敷などを活用したり、川の流れに変化をつけるなど、景観や利用、生き物にも配慮しています。

位置図



流域図



整備前

① 清瀬市中里（金山調節池下流）



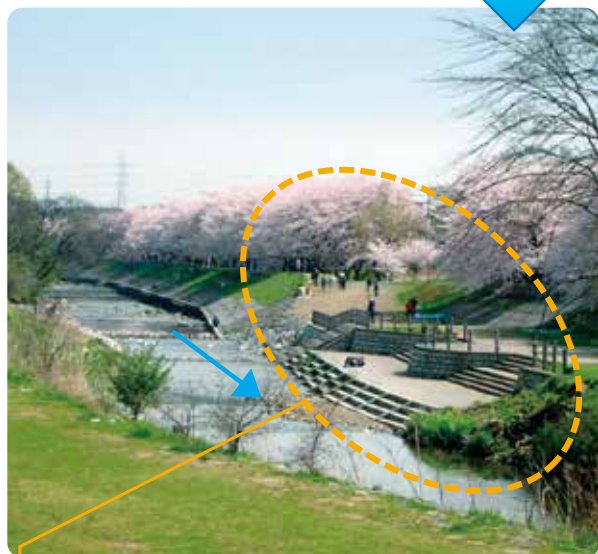
河川は直線的で、親水性の低い印象であった

整備前

② 空堀川との合流部付近



整備後



階段護岸にし河川へ近寄れる構造としており、市で管理している桜並木との調和もとれ、親水性の向上を図った。

整備後



河道を広くとることで、河川の自然の流れでみず筋が形成され、瀬や淵が創出しました。また、緩傾斜護岸を構築し、親水性を高めた。

2-3

からほりがわ 空堀川

清瀬市・東村山市・東大和市・武蔵村山市

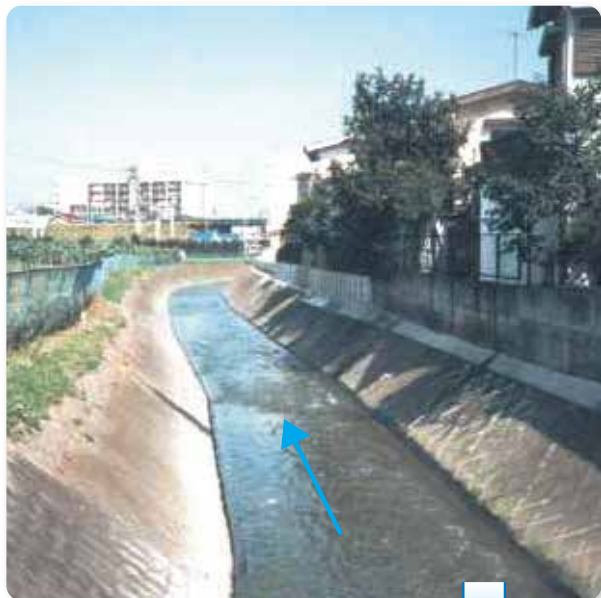
空堀川では、過去に多くの水害が発生していましたが、改修事業の進捗により安全性が向上しています。また、改修にあたっては旧河川敷などを活用したり、川の流れに変化をつけるなど、景観や利用、生き物にも配慮しています。

位置図



整備前

① 東村山市美住町付近(浄水橋下流)



流域図



整備後



● 緩傾斜護岸により整備



整備後の空堀川では、地域の人々による「空堀川・川まつり」が催されています

整備後の事例

② 東大和市高木町付近(高木橋下流)



③ 東大和市清水町付近



④ 東村山市美住町二丁目付近



水深のある所では地元の方が釣りを楽しんでいます



植生ブロックによる壁面緑化



白鷺などが餌となる小魚を獲っている

2-4 の野川

世田谷区・狛江市・調布市・三鷹市
小金井市・国分寺市

野川は、比較的的自然環境に恵まれた河川です。
このため、改修にあたっては、治水上の安全を確保し
つつ、できる限り自然を保全し、生き物にやさしく、
地域の人々に親しまれる川づくりを目指しています。

位置図



流域図



整備前

① 世田谷区喜多見七丁目付近



滞筋が直線的な印象(河床掘削工事前)

整備後



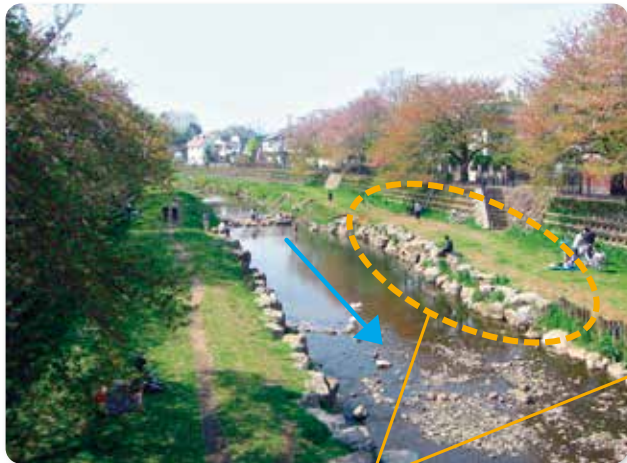
自然な滞筋が形成(工事直後)



徐々に緑化(工事後4ヶ月)

整備後の事例

② 小金井市前原町三丁目付近



③ 三鷹市大沢飛橋付近



● 低水路部分に自然石を配置し、水際に変化を与えると同時に、小さな生き物の棲み家を提供しています。

④ 世田谷区成城四丁目付近



緩傾斜護岸で整備しているため、水際まで安心して近づくことができます。

⑤ 世田谷区喜多見六丁目付近



● 野川ではカワセミが見られることから、営巣できるようにカワセミ護岸を採用している区間があります。

⑥ 世田谷区鎌田四丁目付近



2-5 み さ わ が わ 三 沢 川 稲 城 市

三沢川では、市街化の著しい地域を流れていますが散策やいこいの場として地域の人々に親しまれています。また、桜の花が彩る頃は花見をするために多くの人達で賑わっています。

位 置 図



整 備 前

① 稲城市矢野口地内(矢野口橋上流)



河川は直線的で、近寄り難い印象であった。

流 域 図



整備後の事例

② 稲城市東長沼地内



③ 稲城市東長沼地内



整 備 後



● 区画整理事業との連携により傾斜の緩い護岸の整備を行い、親水性の向上を図った。

● プール(隔壁)タイプの魚道

2-6 ゆ どの がわ 湯殿川 八王子市

湯殿川では、市街化の進行した河川の治水上の安全を確保した上で、生態系や親水性にも配慮した川づくりを行っています。

整備前

① 八王子市館町地藏橋付近



位置図



流域図



整備後

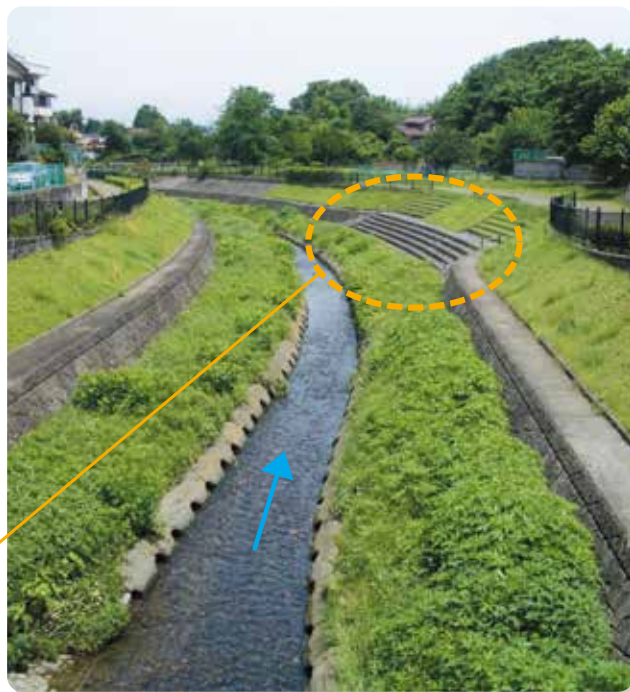
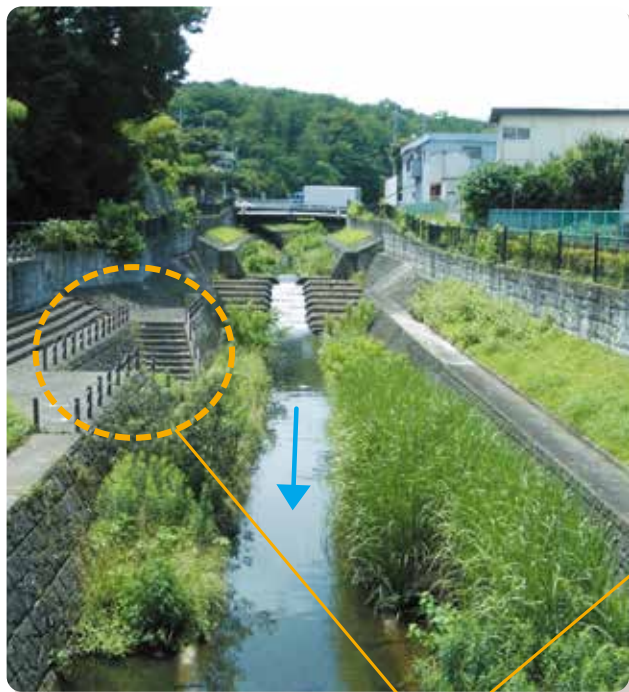


落差工の設置、シバ、フジ等の植栽を施した緩傾斜護岸及び東屋の整備、自然石を配した魚道の整備を行いました。



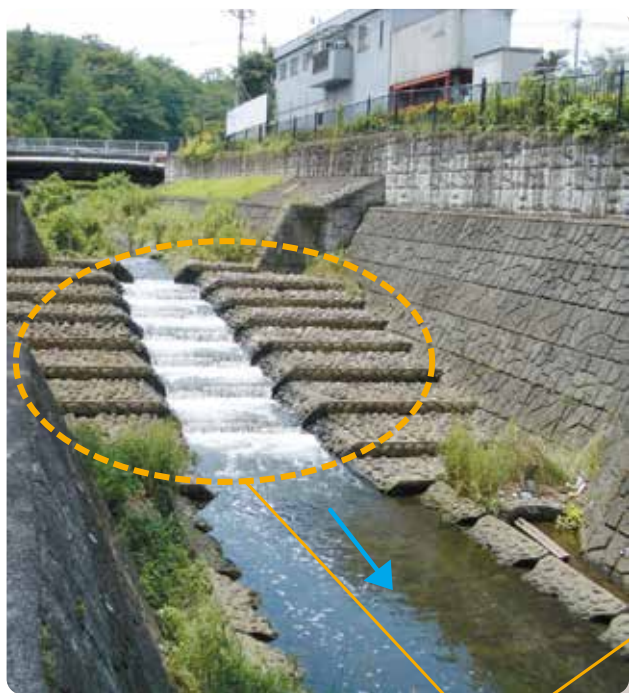
② 八王子市梶田町付近

旧河川敷等を活用し、河川幅に余裕のある区間では、護岸に階段を設けるなど、人々が水辺に親しむことができるような整備を行っています。



● 川との親水性を高めるための階段護岸

川の勾配が比較的急な湯殿川では、川の中に棲む生き物にやさしい整備を目指し、急な段差を解消するための落差工の施工場所では魚などが遡上できる構造としています。



● 魚が川を上りやすい落差工

残堀川では、野鳥に詳しく、カワセミの生息を知っていた瑞穂町長から「カワセミブロック」の設置の要望を受けました。

また当河川は、町の中心部を流れ人々の憩いの場所として整備しているため、都内で初の試みとしてカワセミの生息条件に良好な中宿橋付近にカワセミブロックを設置しました。

位置図



流域図



整備前

① 西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎付近(残堀川最上流部)



整備後

① 西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎付近(残堀川上流部)



狭山池公園(水源地)直下流のため親水性に配慮した。

① 西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎付近(残堀川下流部)



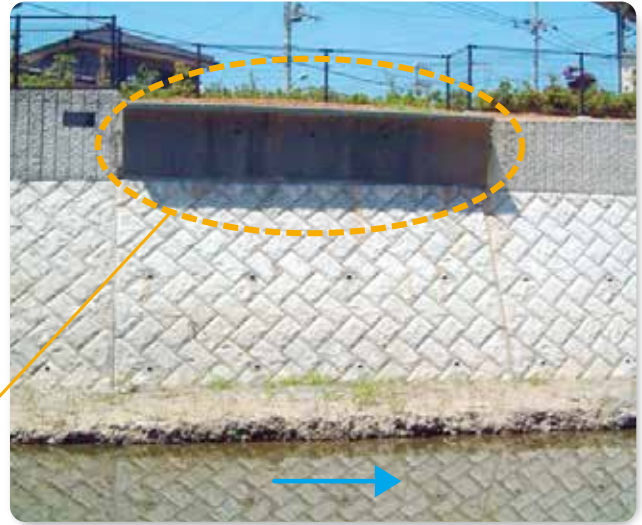
旧トンネル(旧河川)部を管理用通路として活用し上下流の利便性の向上を図った。

整備後の事例

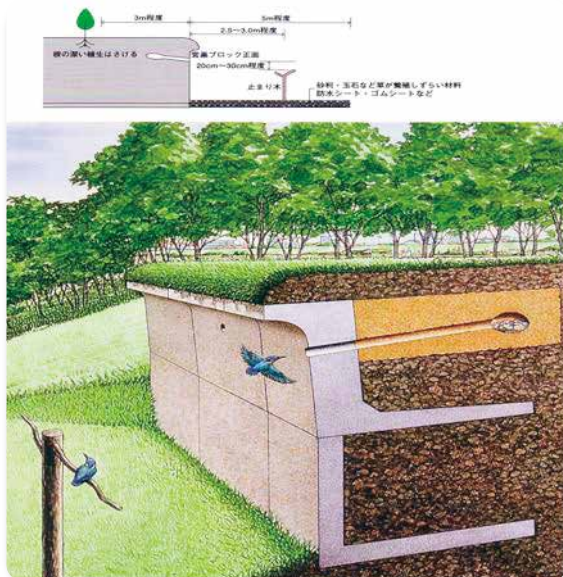
① 国道 16 号線(狭山トンネル)上流左岸



② 中宿橋下流左岸



カワセミブロック設置



③ 昭和記念公園内



2-8 や じ が わ 谷 地 川

日野市・八王子市

谷地川では、川の特徴を活かした川づくりを進めるために、「やさしい水辺と緑あふれる川づくり」をコンセプトに蛇行した旧河川を活用した整備を行っています。

整備前

① 八王子市宮下町付近(鶴舞橋上流)



位置図



流域図



整備後

① 八王子市宮下町付近(鶴舞橋上流)



旧川を生かしつつ、新河道内にワンドを整備しました。また、ワンドにはカワセミブロックを設置し、水辺の自然環境に配慮しています。護岸の一部は親水性の観点から緩傾斜護岸としました。



カワセミブロック



整備後の事例

② 八王子市宮下町付近(宮下橋下流左岸)



断面図



カワセミの営巣地を保全するため、旧河川敷を活用し、現況河岸を島状に残して整備を行いました。

③ 八王子市宮下町付近(宮下橋下流)



断面図



現況河道の瀬や淵を復元できる構造とするために、護岸や根固め等の素材には緑化ブロック、植生ロール、木杭、木工沈床等を用いて整備を行いました。

④ 八王子市梅坪付近(梅坪橋付近)



旧河川敷等を活用し、河川幅に余裕のある区間では、人々が水辺に親しめるように、傾斜の緩い護岸整備を行っています。

2-9 平井川

あきる野市・日の出町

平井川では、流域の6割以上を自然地が占め、魚類をはじめ多様な生物が生息する自然豊かな河川です。このため、整備にあたっては良好な河川環境が存続できるような工法・材料を採用しています。

当該区間では、空石積護岸による緑豊かな河岸の創出、湧水や良好な河畔林の保全等を行い、多様な生物の生息・生育環境の確保を図っています。

位置図



流域図



整備前

① あきる野市菅生地内



整備後

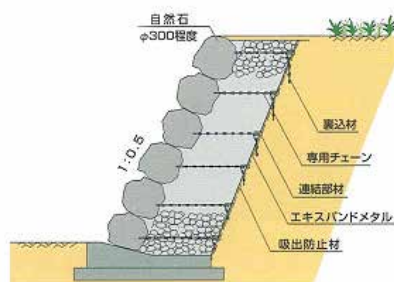


右岸側は河畔林を保全



空石積護岸の隙間からの湧水

標準断面図



② あきる野市原小宮地内



● 落差を多段にし、落差工の全面を魚道化

② あきる野市原小宮地内



瀬や淵の創出により多様な水際を創出

② あきる野市原小宮地内



● 落空石張り護岸により植生を回復

③ あきる野市草花地内



石河原の保全・多段式落差による全面魚道工

③ あきる野市草花地内



● 空石張り護岸により植生を回復

2-10 つる み がわ 鶴見川 町田市

鶴見川では、多様性に富んだ河川形態を有しており、アブラハヤやホトケドジョウなど比較的清流を好む魚類も生息しています。

今後も生きものの生息・生育・繁殖環境を保全・創出していくとともに人々が水辺に親しめる空間の確保を図っていきます。

位置図



流域図



整備前

① 町田市野津田町地内(参道橋下流)



整備後

① 町田市野津田町地内(参道橋下流)



旧河川敷を活用した緩傾斜護岸と蛇行した滞筋の整備

アブラハヤ



ホトケドジョウ



① 町田市野津田町地内(参道橋上流)



地域の人々の協力により「鶴見川・泳げ鯉のぼり」が催されています。

整備後の事例

② 町田市大蔵町地内(関山橋下流)



旧河川敷を活用し緩傾斜護岸・ワンドを整備
(関山ワンド)

③ 町田市大蔵町地内(春日橋上流)



旧河川敷を活用し階段護岸・親水空間を整備

④ 町田市野津田町地内(丸山橋下流)



旧川を残して整備(分流部)

④ 町田市野津田町地内(丸山橋下流)



良好な河川環境を旧川として保全

⑤ 町田市野津田町、山崎町地内(新鎧橋上流)



地域のシンボル拠点として整備
(魚道、階段護岸、河畔林(中州)の保全)

⑤ 町田市野津田町、山崎町地内(新鎧橋上流)



旧川と新川の合流部(川のぼりをする子供たち)

境川は、神奈川県との境を流れ、かつては蛇行が激しい川でした。現在、護岸整備は進んでいますが、川沿いに一部斜面林が残り、川にはカワセミやアブラハヤ等が生息しています。

整備に当たっては、旧河川敷を活用し、生きものと地域の人々が集う空間の確保を図っています。

位置図



流域図



整備前

① 町田市森野、相模原市南区鶴野森地内 (島橋上流)



整備後

① 町田市森野、相模原市南区鶴野森地内 (島橋上流)



背後の相模原市立公園と一体となった旧河川敷を活用した緩傾斜護岸の整備



地域の子どもたちや散歩をする方などが集う空間となっています

大栗川は八王子市鎌水の御殿峠に源を発し、柚木街道、野猿街道沿いに大きく蛇行しながら流れ、大田川を合わせた後は多摩市に入り、多摩川に合流する全長15.29kmの河川です。

老朽化したコンクリート護岸を緑化ブロックで再構築するとともに、遊歩道の整備によって環境や親水性に配慮した川づくりを行っています。

整備前

① 多摩市関戸五丁目付近



位置図



流域図



整備後

① 多摩市関戸五丁目付近



● 緑化ブロックによる緑化

② 多摩市東寺方付近



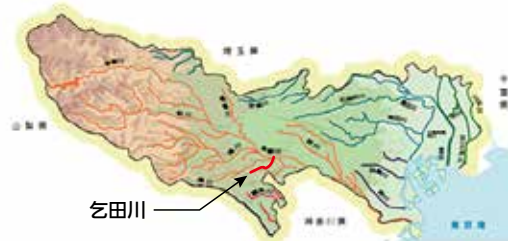
● 遊歩道及び階段の整備により親水性の向上

2-13 こっ た がわ 多摩市 多摩川

多摩川は町田市上山田地内を源とし、多摩市の中央部を流れ、行幸橋下流で大栗川に合流する延長4.4kmの多摩川水系一級河川です。

当河川は植栽により緑化を進めるとともに、遊歩道の整備によって環境や親水性に配慮した川づくりを行っています。

位置図



流域図



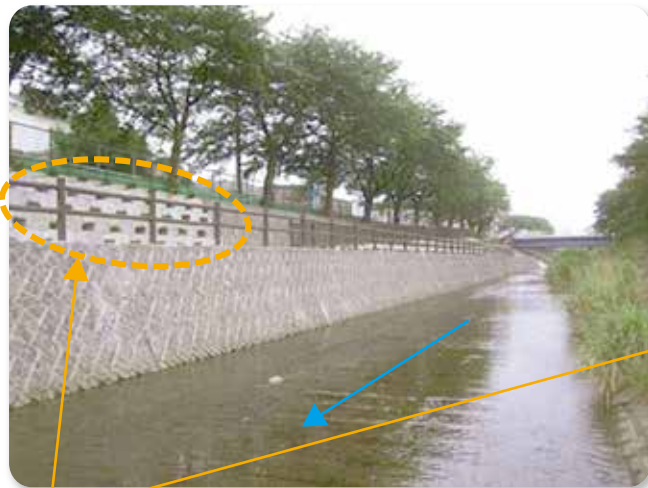
整備前

① 多摩市貝取一丁目付近



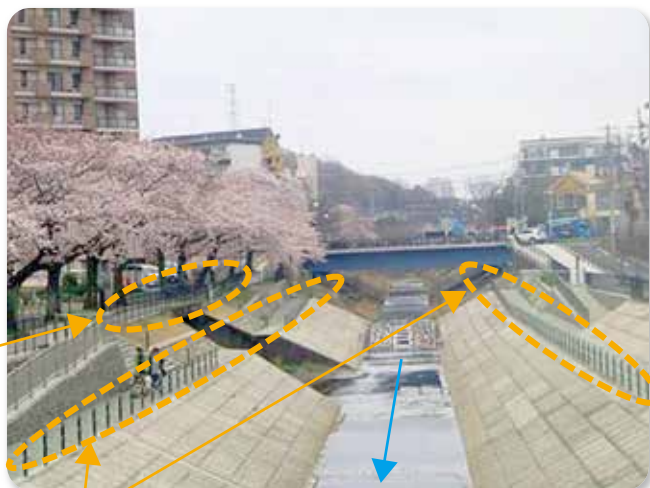
整備後

① 多摩市貝取一丁目付近



● 植栽により緑化を図る

② 多摩市貝取一丁目付近



● 遊歩道の整備により親水性の向上

3-1

かな やま ちょう せつ ち 金山調節池

清瀬市

その他
金山調節池

金山調節池では、周辺からの湧き水が豊富なため、池には湿地性の生態系が形成されており、湿地部に擬木の散策路が整備されています。

この生態系を保全していくため、市民と行政が協働して、調節池の生態系保全管理を行っています。

位置図



流域図



整備前



多様な植物群落の湿地性植生

整備後



多摩随一のビオトープとして保全(豊かな湧き水と変化に富んだ水環境)

A photograph of a concrete drainage ditch. The ditch is formed by large, grey concrete panels that slope downwards. Inside the ditch, there are several large, dark grey rocks. A small waterfall is visible, with water cascading over the rocks. A blue arrow points to the base of the waterfall. The surrounding area is covered with green grass and some small plants.



「関東のいい川づくり」入賞河川

○『関東のいい川づくり』選定会

選定会は平成18年度から国土交通省関東地方整備局主催で開催され、「河川改修を担当する各都県の実務担当職員が河川の魅力を再認識し、管内の各都県が相互に評価することにより『川づくり』担当者の励みとするとともに、今後の『川づくり』の更なるレベルアップを図ること」を目的に実施しているものです。

○過去の入賞河川

都では平成18年度第1回開催から毎年入賞しており、これまでに区部河川では隅田川、小名木川、旧中川、善福寺川、妙正寺川で受賞、多摩河川では落合川、鶴見川で受賞しています。

それぞれの入賞河川について、以下のとおり写真等で紹介します。



選定委員会発表、審査の様子

平成18年度入賞

第6位 落合川

施工前では、管理用通路と河川との間にネットフェンスを張り、水に近づけないものでありましたが、旧河川と新河川の間の土地を緩傾斜型の護岸として整備し、水辺に近づける構造としました。



平成19年度入賞

第3位 隅田川

東京の顔である隅田川では、地震に強く、水辺に親しめるスーパー堤防やテラスを整備しています。桜まつり、レガッタ、花火大会などには大勢の人で賑わっています。



平成20年度入賞

第3位 旧中川

施工前では、管理用通路と河川との間にネットフェンスを張り、水に近づけないものでありましたが、旧河川と新河川の間の土地を緩傾斜型の護岸として整備し、水辺に近づける構造としました。



表彰状

第3位 旧中川 (東京都)

本市の公募された河川は、平成20年度東京都内河川河川
「旧中川の川づくり」で、東京都委員会において、最も優秀な河川
の整備計画を決定されました。

河川の魅力を高めるため、河川と自然の調和を図ることに
力を入れ、河川の川づくりを推進し、その効果を高めること
に貢献しました。

平成20年12月28日
「旧中川の川づくり」で、東京都委員会
委員長 山崎 功博



平成21年度入賞

第3位 鶴見川

鶴見川には良好な自然環境が残っています。その環境を保全するとともに、旧河川敷等を利用して緩傾斜護岸やワンドの整備などの水辺に親しめる川づくりを行いました。



表彰状

3位 鶴見川 (東京都)

本市の公募された河川は、平成21年度東京都内河川河川
「鶴見川の川づくり」で、東京都委員会において、最も優秀な
河川の整備計画を決定されました。

河川の魅力を高めるため、河川と自然の調和を図ることに
力を入れ、河川の川づくりを推進し、その効果を高めること
に貢献しました。

平成21年12月28日
「鶴見川の川づくり」で、東京都委員会
委員長 山崎 功博



平成22年度入賞

第3位 善福寺川

善福寺川の激特事業において、限られた事業期間のなかで、ワークショップの開催により住民意見を取り入れた公園との一体整備など、環境に配慮した川づくりを実施しました。



表彰状

3位 善福寺川 (東京都)

本市の公募された河川は、平成22年度東京都内河川河川
「善福寺川の川づくり」で、東京都委員会において、最も優秀な
河川の整備計画を決定されました。

河川の魅力を高めるため、河川と自然の調和を図ることに
力を入れ、河川の川づくりを推進し、その効果を高めること
に貢献しました。

平成22年12月28日
「善福寺川の川づくり」で、東京都委員会
委員長 山崎 功博



平成23年度入賞

特別賞 旧中川

旧中川では、環境に配慮した緩傾斜堤防の整備や水際部へのワンドの整備など、自然環境の保全、再生や親水性を向上させるための川づくりを実施しました。



平成24年度入賞

第2位 隅田川

隅田川のスーパー堤防整備事業において、低水路部に葦を生やしたり堤防天端に展望スペースを設ける等、生息環境や景観に配慮した整備を行いました。



平成25年度入賞

第1位 小名木川

小名木川の修景整備において、緑豊かな土堤風の整備や水際に水生植物を配置するなど、自然回復に寄与できるよう親水整備を行いました。



平成26年度入賞

第3位 隅田川

隅田川のテラス整備において、江戸時代の絵を用いたパネルや夜間照明施設をテラス内に設置し、歴史を感じながら夜間も散策できる水辺空間を創出しました。



平成27年度入賞

特別賞 妙正寺川

妙正寺川の鷺宮調節池整備(貯留量35,000m³)において、調節池前面護岸を調節池上部の公園と一体感を持った親水護岸に整備しました。



「関東いい川づくり選定委員会」入賞河川一覧 (東京都)

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
開催日	H18.12.20	H19.12.20	H20.12.19	H21.12.19	H22.11.24	H23.11.25	H24.11.22	H25.11.22	H26.10.28	H27.11.16
会場	関東地整	ラフレ さいたま	都庁	関東地整	関東地整	都庁	波止場 会館 (横浜)	関東地整	関東地整	関東地整
入賞	6位 落合川	3位 隅田川	3位 旧中川	3位 鶴見川	3位 善福寺川	—	2位 隅田川	1位 小名木川	3位 隅田川	—
特別賞	—	創意工夫賞 野川	—	—	—	特別賞 旧中川	—	—	—	特別賞 妙正寺川



 東京都 建設局河川部改修課

平成29年4月発行

平成28年度登録 第89号

東京都建設局河川部改修課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

(03) 5321-1111 (代表) 内線41-511

建設局ホームページ

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>